

市長定例記者会見次第

平成 26 年 1 月 30 日 (木)
午前 10 時 30 分～ 11 時 30 分

1. あいさつ

2. 発表内容

ページ

- | | |
|------------------------|---|
| (1) 深谷ベースでの縁台製作イベント | 1 |
| (2) 第 8 回ふかやシティハーフマラソン | 4 |
| (3) 小中一貫教育カリキュラム深谷モデル | 6 |
| (4) 中学校における『立志式』等の取組 | 8 |

3. その他

- ・宝登山小動物公園の猿へ深谷ねぎの提供による PR
- ・埼玉県こども自然動物公園の動物へのふっかちゃんの深谷特産野菜の提供による PR

4. 次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：平成 26 年 2 月 17 日 (月) 午前 10 時 30 分～ 11 時 30 分

深谷ベースでの縁台製作イベント

■ 目的等

深谷ベースにおいて市民有志の手で「縁台」を製作し、これを深谷ベースや街なかに設置することで、商店街での来街者の利便性向上と中心市街地のにぎわい創出や商店街の振興を図ります。

■ 日時

平成26年2月16日（日） ※一般市民対象（親子参加可能）

午前10時～午後3時（正午から午後1時は昼休み）

※1日の参加で縁台は完成します。

※荒天時の場合は中止する場合があります。

※平成26年1月29日（水）には、プレイベントとして商店街の方を対象とした製作イベントを実施しました。

■ 場所

深谷ベース（深谷市産業交流施設：深谷市深谷町10-29）

■ 実施概要

- ・縁台の製作作業（一部材料の切断と組み立て、焼き印）
- ・参加者交流の場（焼き芋を行う予定）

材料等は市で用意することで、統一感のあるデザインの縁台を製作します。完成した縁台はお持ち帰りいただき、各商店等で来街者をおもてなしするために利活用いただきます。

集まって作業いただくことで、参加者同士の交流の機会となることも期待しています。

また、今後、中心市街地で行われるイベントの際にも、縁台を活用した企画を検討していきます。

■ 参加方法

事前申込制（縁台15台分程度受付。下記問い合わせ先に申込。）

参加料・無料

■ 主催・問い合わせ先

深谷市産業振興部商工振興課

住 所：深谷市仲町20-1 産業会館3階

電 話：048-574-6650

F A X：048-574-6669

メール：shoukou@city.fukaya.saitama.jp

深谷ベースで縁台製作 企画案

事業名：「えんだい」作ろっ！（仮称）

目的：深谷ベースにおいて、ベース隊員や商店街等の市民有志の手で、ベースや周辺商店街に設置できる「縁台」を製作し、これを街なかに設置することで、ベースや商店街での来街者の利便性の向上と中心市街地のにぎわいや商店街の振興を図る。

日時：候補日：①平成26年1月29日（水） ※商店街対象
②平成26年2月16日（日） ※一般市民対象（親子参加可能）
午前10時～午後3時（正午から午後1時は昼休み）
※商店街の定休日が多い水曜日であること。

場所：深谷ベース（深谷市深谷町10-29）

対象者：①商店街関係者、②一般市民（都合により①の方が②に参加しても良い）

周知方法：①ポスター掲示、個別の声掛け（商店街連合会など）
②市の広報媒体（ホームページ、フェイスブック、ツイッターなど）
③深谷ベースの掲示板・ブラックボード

予算：10万円程度

実施内容：

（1）事前告知

（2）製作について（製作日の対応職員：商工振興係員3名程度を想定）

①設計に基づき、統一デザインの縁台を製作する。

- ・作業は「組み立て」などの簡易な作業
- ・30台分を想定（5商店会に6台ずつ割り当て想定による）
- ・作成した縁台を持ち帰っていただき商店の店先などに設置してもらおう。（塗装などでカスタマイズしていただいて構わない。管理は本人に行っていただく。持ち帰った商店等を把握しておき、縁台マップやイベントを開催時に活用。）

②参加者交流

- ・寒さ対策として焚き火を行い、あわせて焼きイモを行う。

③そのほか

- ・持ち帰った縁台を積極的に活用し、“おもてなし”を心掛けていただきたい。
- ・縁台利用をキッカケに来街者と商店、来街者同士など新しい市民交流が醸成されるよう、街中で行うイベント時は積極的に利用してもらおう他、PRも行う。

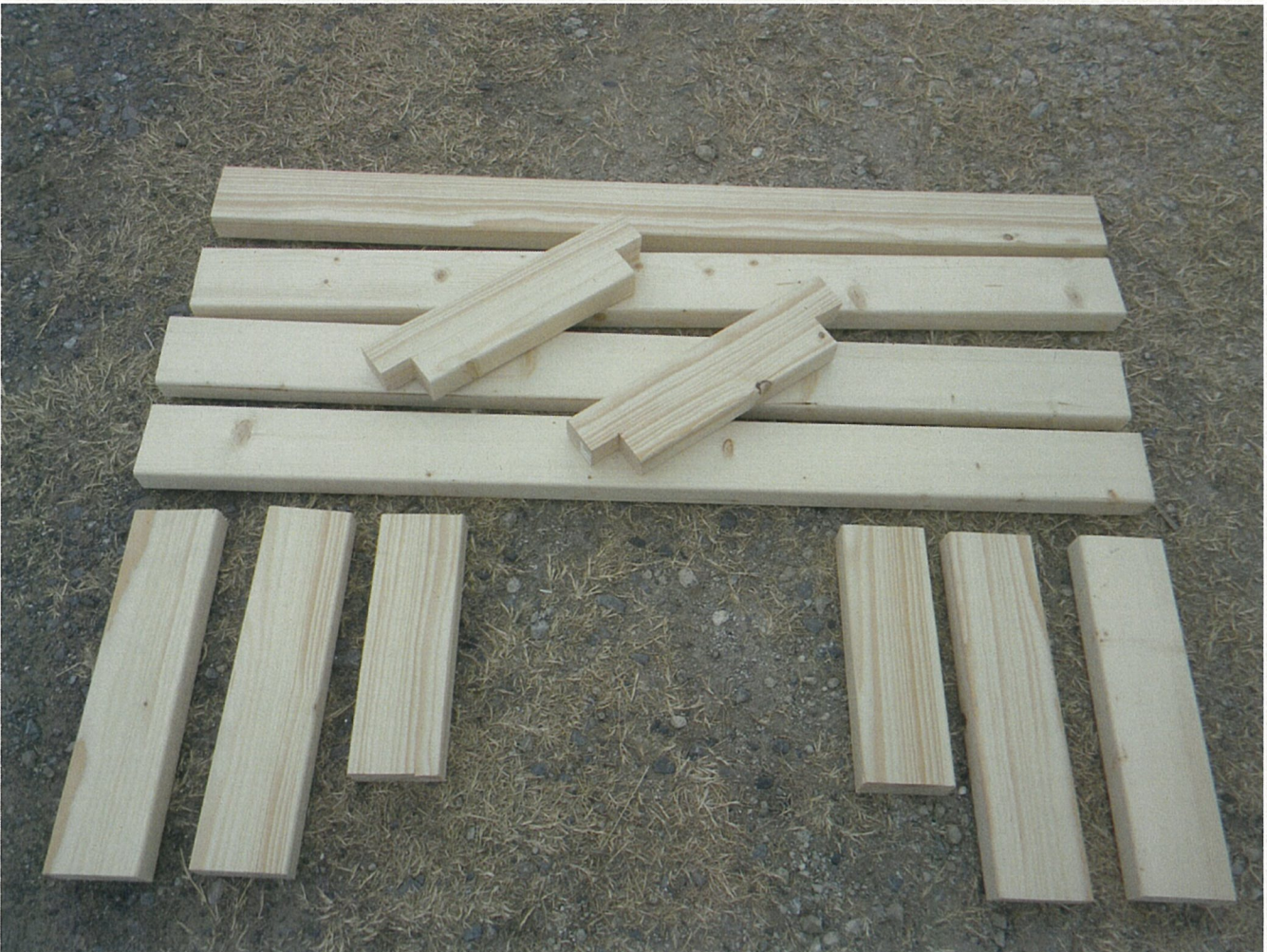
製作後の事業展開について（あくまでも例です）

（1）縁台写真コンクール

（2）縁台マップの作成

（3）縁台ゲーム大会の実施（華の宿場まつり、花フェスタ等にあわせて）

1



3

第8回ふかやシティハーフマラソン

■ 目的等

生涯スポーツ推進の一環として市民に広くマラソンを実践する機会を提供し、健康維持・増進及び健康づくりへの意識の高揚を図ると共に、地域・世代間の交流を促進し、子どもたちの健全育成に寄与することを目的とする。

■ 日 時

平成26年2月23日(日)《雨天決行》

受付/午前7時～午前8時20分

開会式/午前8時10分

■ 場 所

深谷市仙元山公園

(深谷市仙元山公園陸上競技場及び深谷市総合体育館)

■ 概 要

【種目】

ハーフ [日本陸連登録者男女・一般男女(高校生以上)]

10km [日本陸連登録者男女・一般男女(高校生以上)]

5km [一般男女]

3km [中学生男女]

2.4km [小学4～6年生男女]

1.6km [小学1～3年生と保護者]

※ハーフ・10kmは(公財)日本陸上競技連盟公認コース

■ その他

【申込期間】

平成25年11月1日(金)～平成26年1月10日(金)

【参加申込人数】

全種目合計：6,256人

【招待選手(予定)】 80人

Honda・大東文化大学・城西大学・上武大学・平成国際大学
創価大学・白鷗大学

■ 問い合わせ先

ふかやシティハーフマラソン実行委員会事務局

(深谷市教育委員会教育部生涯学習課内)

TEL 048-572-9581

FAX 048-574-5861

参考

■第7回ふかやシティハーフマラソン経済波及効果について

尚美学園大学総合政策スポーツ・マネジメント研究会

調査責任者 江頭 満正

調査担当責任者 本田 直也 長谷川 晃樹

老田 秀人 毛塚 江莉

佐藤 夏美

※別紙の資料のとおり

小中一貫教育カリキュラム深谷モデル

■目的

深谷市では、子どもの発達段階の変化をとらえ、義務教育9年間を連続したものとして小中一貫教育をすすめています。

9年間を通して継続的で一貫性のある指導を行うことで、いわゆる『10歳の壁』や『中1ギャップ』を解消し、さらなる学力の向上と不登校の解消を目指します。

小・中学校が力を合わせ、小中一貫教育をすすめていくための指針として、小中一貫教育カリキュラム深谷モデルを作成しました。

■概要

○1冊で、9年間の全教科等の学習内容が確認できる
(幼稚園、特別支援教育を含む全14教科等)

○義務教育9年間を前期4・中期3・後期2の3つのステージに分け作成

○継続的な指導を可能とするための『つなぎ教材』を開発・導入

*平成24, 25年度埼玉県教育委員会委嘱小中一貫教育推進モデル事業の研究の一環として作成しました。

■平成25年度当初予算額 450千円 (印刷製本代)

■問い合わせ先

深谷市 教育委員会教育部 学校教育課 電話 048-572-9578



小中一貫教育カリキュラム 深谷モデル

学力の向上

9年間の学びの連続性・指導の一貫性

不登校の未然防止

これまで

小・中の指導方法の違い

幼稚園

小学校 6年間

中学校 3年間

★小1プロブレム

★10歳の壁

★中1ギャップ

これから

幼稚園

前期 (4年間)

中期 (3年間)

後期 (2年間)

ねらい

滑らかな
接続

学習や生活の
基礎基本の確立

個に応じた
指導の充実

個性と能力
の伸長

9年間の系統的、継続的な指導

★小1プロブレム・・・小学校に入学したばかりの児童の生活行動の乱れ

★10歳の壁・・・小学校4年生頃の学習内容が変わることでのつまずき

★中1ギャップ・・・中学校入学したての生徒の生活面、学習面での不適応

平成24、25年度埼玉県教育委員会委嘱 小中一貫教育推進モデル事業

小中一貫教育カリキュラム深谷モデル
全体計画&年間指導計画

1 国語	8 体育・保健体育
2 社会	9 家庭・技術家庭
3 算数・数学	10 生活・総合的な学習の時間
4 理科	11 特別活動
5 外国語活動・英語	12 道徳
6 音楽	13 特別支援教育
7 図画工作・美術	14 幼稚園



平成26年1月
深谷市教育委員会
深谷市立教育研究所研究協力員

深谷モデルの特徴

- 1冊で9年間のすべてがわかる
- 幼稚園を含む全14教科等
- 義務教育を4・3・2の3つのステージに分け作成
- 「つなぎ教材」で継続的な指導

中学校における「立志式」等の取組

■ 概 要

深谷市立の中学校においては、キャリア教育の推進・充実を図る中で、生徒自身が自分の将来の夢やこころざしを思い描き、それを発表する「立志式」または「夢・志を語る会」等が行われています。

■ 目 的

- ① 将来の夢や希望をもち、こころざしを立てることで、これからの生き方について考え、大人になる自覚を深めます。
- ② 望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育の充実を図ります。
- ③ 発表を通して、仲間の考えを知り、互いに学び合う機会とします。

■ 実施校

『立志式』として実施している中学校

明戸中・花園中・川本中・豊里中

『夢・志を語る会』等として実施している中学校

上柴中・岡部中・藤沢中・深谷中・南中・幡羅中

■ 実施日等（『立志式』として行う中学校）

明戸中：平成25年11月22日（実施済）

花園中：平成26年 2月 1日

豊里中： 2月 1日

川本中： 3月17日

■ 問い合わせ先

深谷市 教育委員会教育部学校教育課

電話 048-572-9578



夢・こころざしの実現

学校教育

社会体験チャレンジ（職業に触れる）
ふれあい講演会（職業を考える）

夢をもつ

★立志式（決意表明）

社会的・職業的自立
を目指して

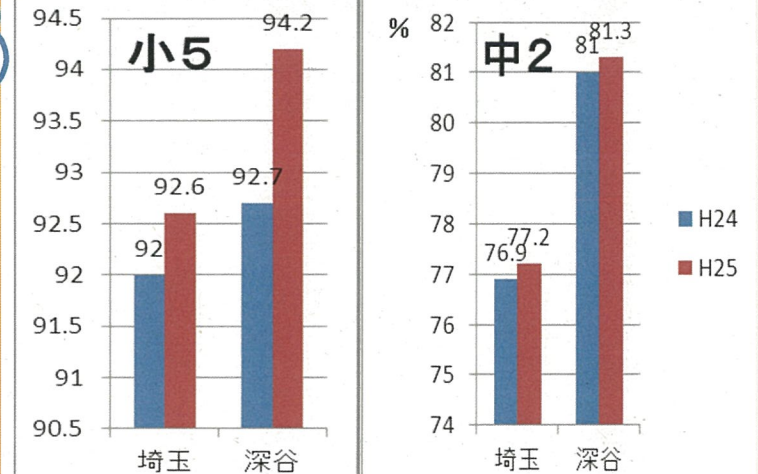
社会教育

学びの支援事業

（公民館等を利用した社会教育活性化プログラム）

ニート・ひきこもりの
解消

夢を持っていると答えた子供の割合



立志式

★将来の夢や決意などを
明らかにすることで、大人
になる自覚を深める取組

花園中学校の立志式

2月1日(土):2年生全員が「立志作文」を
全校生徒の前で発表！